

2015年度 学校評価報告書 所属名 (京都聖母学院小学校)

学校目標	豊かな学力と創造性を持ち、誰に対しても誠実で礼儀正しく、奉仕の喜びを知る子どもを育てる。
------	--

校長	澤井 広子
----	-------

重点目標	2015年度の具体的な目標 1、 カトリック精神に基づく心の教育 2、 基礎学力の充実とよりレベルの高い授業 3、 しつけの行き届いた子どもを育てるマナー教育 4、 有意義な研修による教員のスキルアップ
------	---

学 校 自 己 評 価		目 標		評 価 (児童12月4日実施 保護者12月11日～16日に実施)	
番号	重点目標	具体的方策	取組の成果	次年度への課題と改善	
1	カトリック精神に基づく心の教育	* 宗教と並行して道徳の授業を進めカトリックの精神を学ぶとともに人間の生き方についても学んでいく。 * 誕生学で命の大切さを学んだり、ルワンダの実情を知り募金をしたり、支援の活動を展開していくことで奉仕の素晴らしさを知らせる。またお米一握り運動でお米を集めて釜が崎の人々を支援する * お世話になっている近所の方々に感謝を込めて学年ごとに周辺の掃除をする。 * 宗教行事に神父様に来ていただきより充実した内容にする。	* 宗教担当の教員と担任が協力して月に1回の道徳授業を実施できるように努めた。道徳の公開授業も実施し、よりレベルの高い授業を目指すことができた。 * ガテラさん真美さんは来校されて支援のための準備を着々と進めることができた。2年生には誕生学の出張授業を行い、命について考えさせた。 * 感謝掃除の運動の途中近所の方から温かい声がけがあった。 * 例年行われている4～6年の学年末修養会をミサの形にした。また、死者の月の祈りの集いに神父様をお招きして厳肅な雰囲気の中で祈りができた。	今年度は各学年で授業記録をとったのでそれを元に本校独自のカリキュラムを考えていく ルワンダレスキュー隊・宗教委員会のお米一握り運動をもっと多くの人に知らせる	
2	基礎学力の充実とよりレベルの高い授業	* 学年に応じた計算力をつけ、算数能力を伸ばすことで算数検定の合格率を上げ、受験に対応できる応用力を身につける * 漢字能力を伸ばし全校漢字検定合格率アップを目指す。 * 作文能力を伸ばす。 * 朝の1分間スピーチで考えをまとめて話す力をつける。 * さまざまな実験を取り入れたり、企業の出張授業を実施することで理科の興味関心を高める。 * 読書をする中で本に関心を持たせ、読書量を増やす。 * 基本的な学力を身につけるために補習を実施し理解を深める。 * 自分の考えを論理的に話したり書いたりする能力を高めるとともに、考えを発表し相手を納得させるプレゼン能力を高める * 国際コース・総合コースともに英語能力を伸ばす	* 副担任が担当して、各学年に応じた計算テストを毎日継続し事後指導も充実させることによって計算力がアップした。それに伴って算数検定の合格率も上がった。 * 漢字検定の合格率が上がった。 * 日記をつけ担任に提出することによって担任とのコミュニケーションをとると共に作文能力を伸ばした。 * 各学年に応じたスピーチをすることによって自分の考えを表現する能力が伸びた。教科にも活かされ、算数研究発表などに効果が表れた。 * 出張授業等を取り入れて専門家の出張授業を取り入れることで本格的な実験を体験させることができた。 * 朝読書で1日が静かに始まり授業がスムーズにスタートできた。また、読書量も増えた。読書活動優秀実践校に選ばれ、文部科学大臣表彰された。 * 全学年にわたって補習を実施することで基礎学力の定着を図った。 * アクティブラーニングをさらに充実させ、また、グループで話し合うことでさらに自分の考えを深めた。また、タブレットのロイロノートを使ったプレゼンテーションにも挑戦した	国際クラスは総合クラスと比べてどうしても漢検合格率が低いのでより漢字練習が必要 i Pad の授業を工夫したがさらに研究して授業ですべての先生が使えるようにする。	
3	しつけの行き届いた子どもを育てるマナー教育	* 朝礼・儀式の際により厳肅な雰囲気になるように指導する。 * 身だしなみを整え、きまりを守るよう指導する * 登下校の際の車中のマナーなど具体的に指導する。	* 朝礼をはじめとする儀式の行き届りに私語を慎むよう指導すると共に儀式中の姿勢も細かく指示することで緊張感を持って儀式にのぞめるようになった。 * 登下校時の制服の着方について教員全員で共通意識を持って指導したところ、身だしなみに気をつけるようになった。 登校班会議で指導・話し合いをすると共に必要に応じて登校班を召集して指導した結果、子どもたちが車中での態度を向上させようと努力するようになった。	毎月の生活目標に対する子どもたちの認識が甘かったので毎月確認させることが大切である。 電車マナーについての苦情は減ったがなくなったわけではないので指導を続ける	
4	有意義な研修による教員のスキルアップ	* 授業力の向上を目指し定期的に研究授業・公開授業を行う。 * 基礎能力の向上を目指し、年5回の教員としての基礎知識に関する研修を企画する。 * 若手教員のために授業法や教師の心得等定期的に研修を開く。 * ネイティブ教員のスキルアップを目指し、各自年1回の公開授業と事後研究会を行いお互いに学びあう。	* 学期1回の研究授業・各公開授業・公開研究会を通して各々の授業を見直し向上するべく努力した。公開授業には多くの教員が参加し、研究会にも意見が多く出され有意義な話し合いが行われた。 * 年5回の教員研修を実施し、学外の研修に積極的に参加することによってそれぞれの基礎能力を向上させることができた。 * 学内新任研修の実施や西日本・京都の私学連合研修の参加などを進めると共に各学年においても学年主任を中心にさまざまな面で指導し、効果を上げた。また、自由企画自由参加の研修会を開催し、多くの教員が参加した。 * ネイティブに年1回の公開授業を義務付け、授業の規律等についても説明する機会を設けた。すべてのネイティブが公開授業を行い、互いに見合うことができ授業方法について考える時間が持てた。	公開授業が3学期に集中しがちなので計画的に実施する必要がある。 今年度は内容の充実した研修だったが来年度もレベルを下げないようにしたい。 管理職の新任指導が効果を上げた。来年度は新任はいないが担任が初めての教員に対して指導していく。 今年度に引き続きランチミーティングを実施し、ネイティブとのコミュニケーションを図る。	

学 校 関 係 者 評 価
学校関係者からの意見・要望・評価等 (3月19日実施) 以下の観点から評価を実施した。 ①今年度の学校評価の内容について。 ②学級・学年・学校の取り組みは保護者が満足するものであったかどうか。 ③今後本校に望むこと ①今年度の学校評価の内容について。概ね保護者は満足しているようだ。 給食のコメントが多いが批判的なものばかりではない。 小学生でありながら将来の夢を持っている子が多いのは良いことだ。 ②学級・学年・学校の取り組みは保護者が満足するものであったかどうか。 学校の中に入ったときの雰囲気も引き締まったように感じる。しかもとても明るい雰囲気がある。 子どもがしっかりとあいさつできている 合唱団を中心に学校全体がまとまってきている。 広報活動に力を入れているのが良くわかる。 ③今後本校に望むこと 広報活動に力を入れているのはわかるが優れた教育内容を広めるためにより活動を広めたほうが良い。 広報活動で保護者会で手伝うことがあれば言うて欲しい。協力は惜しまない。 すべて保護者の意見を聞くのではなく学校側に任せていただく部分があってもよい。